学校再編説明会　議事録（要約版）

日時：令和 8 年 10 月 13 日（火）
①10 時 00 分～11 時 00 分（1 時間 0 分）　②14時 00 分～14時20分（20 分）
会場：中央公民館　学習室
スライドでの説明　15 分程度、その後　質疑応答
対象：三芳小学校、上富小学校の在校生保護者と未就学世帯保護者、地域の方

参加者：10 名
うち、未就学児世帯5名（上富小学区2名、三芳小学区3名）、在校生保護者　3　名（三芳小学区）、その他 2 名

【質疑・応答】
（質問事項まとめ）
スクールバスについて

① 三芳小まで 2.0 ㎞以上と 2.5 ㎞以上の案の 2 択だけか、上富小の子のみでこれで決定なのか、三芳小の子は対象にならないのか
⇒三芳小の児童でも 2.0 ㎞を超えて通学している児童はいる。今回提示したスクールバスの運行想定は、統合に伴って今より通学距離が延びる上富小学校区の児童を対象に、ということで想定したもの。これからアンケート結果をふまえて、準備委員会を開いて決定していくもので、決定事項ではないが、現時点の案としては、三芳小学校区の児童は対象外としている。

② 停留所の三芳小学校というのは、具体的に決まっているのか。
⇒バスの旋回を考えて、三芳小学校の中に入って校庭のあたりを考えている。

③今体操着やスクールバスについて、こういう状況であるとか言われて、それに対する意見と言うのはどのように伝えればいいのか。スクールバスも三芳小学区は今の時点では対象外と言うことだったが、夏の酷暑日に子どもたちが重い荷物を持って、歩きにくいところを歩いている。町にも何度か歩道の修繕をお願いしているが、すぐには進まない。通年ではなくても、夏の間だけでもバスを出してもらって使えるようにしたいという希望がある。希望はいつどこに言えばいいのか。学校なのか、学校教育課なのか。バスについては、すぐには無理でも、その翌年の予算で考えてもらうとかの手立てはないのか。
⇒スクールバスについては、令和 10 年度の上富小学校区の児童を想定し、2 つの案でバス 2 台の運行で乗車予定を 58 人と 44 人としている。統合後の三芳小学校区の児童、今の上富小の児童を足した人数の将来推計を令和 14 年度まで見ているが、人数がだんだんと減っていく見込み。バスに余裕が出てくれば、三芳小学校区の児童についても乗車の対象として検討していくという可能性もある。現時点では、統合に伴って今より通学距離が延びる上富小学校区の児童を対象に、ということで案を提示している。何かご意見があれば、アンケートに書くか、直接学校教育課までお問い合わせいただきたい。

④三芳小の子どもたちの中で、「うちだって 2 ㎞以上あるのに」ということで「上富小だけズルい」という話が出てくるかもしれない。三芳小の遠い距離の子のことを考えると、重い荷物

をもって毎日の教科書の持ち運び、学期末にはプラス荷物で、かなりの差ができる。そういうのをなるべく変えてあげると子どもの負担が減ると思う。低学年の子は置き勉ができないので、全て持って帰るようになる。重い荷物を持つと体の成長のリスクもあると思う。そいう面も何か対策してあげると良い。
⇒毎日の持ち物、通学方法などは学校ともよく協議して、可能な範囲でできる対策を取っていきたい。

⑤統合後の子どもたちの精神面が心配。バスの 2.0 ㎞以上、2.5 ㎞以上で、バスに乗る旧上富小と、そうではない三芳小ということになると、いつまで経っても、三芳小の子、上富小の子という意識が潜在的に残るのではないかという懸念がある。親同士も子ども同士でも、「お前のところはいいよな。」などと、いじめとはいかなくても、仲間はずれが起こらないとは限らないと思う。ちなみに、三芳小と上富小以外の学校で 2.0 ㎞以上、2.5 ㎞以上で通学している学校はあるのか。
⇒小学校区で言えば、他の 3 校は現在 2.0 ㎞以上を通学している児童は居ない。仲間外れなどの問題が起きないように、学校と協力しながら対応していく。

バスは予算やキャパシティの問題もあるとは思うが、それを聞くと尚更どうなのかなと思う。
⇒子どもたちの心のケアの問題については、今年度から 2 校の児童で交流を進めている。今年の夏に先生同士で教育課程の話し合いもしていただき、現在の予定では、総合的な学習の時間や生活科、社会科見学、学校行事の交流、オンライン交流などを予定しており、一部については既に実施している。保護者同士も PTA の調整などを進めていて、先生同士も交流を行っている。仲間外れなどということはもちろんないように、一緒に「新しい学校をつくっていく」という雰囲気作りが大切だと思っている。

三芳小の PTA をやっているのだが、PTA の調整とは具体的には。
⇒学校準備委員会の委員として、両校の PTA 会長に参加いただいており、今後 2 校の PTA を一緒にしていくために、どのような手順でどう進めていくかの協議を進めており、これから各学校の PTA に下ろしていく予定。

⑥小学生にとっては、2.0 ㎞以上というのは物理的にすごく遠い。毎年子どもの人数が減っていて、通学班でもめることが多い。通学班の中でいざこざがあることもある。
2.0 ㎞以上の遠い子については、保護者が車で送迎することも可としてほしい。
⇒上富小学校区の保護者の方からは、学校行事に参加する際などに、これまでより距離が延びるので、車での移動を可としてほしい、駐車スペースを確保してほしいといった要望が寄せられてきた。どの小中学校でも対応は同じだが、原則は徒歩と自転車としている。運動会などの行事の際には、一時的に例えば近くの民間事業者に協力をお願いして、駐車スペースを確保するなどの対応を検討している。ただし、平時の登下校の移動については、基本的に車の使用は不可として考えている。

⑦三芳小では、毎年面談の時に登校班のことでもめる。近くの家で登校班を組んでいる子同士で仲が良くないとケンカが起きる。やまやの前の道などが狭く、勾配もきつい。子どもが重い荷物をもって狭い道を歩くのは大変。通学路はここを通りなさい、車での移動は認めないというのであれば、せめて安心安全に通れるような対策をしてほしい。

⇒登校班に関しては、学校だけでは目が届きにくい場合もあり、教職員だけでは全ての対応が難しい。家庭、学校、地域が協力して子どもを見守っていくことが大切。危険箇所があれば、学校の判断で迂回路を通すなど、通学路の設定は臨機応変に対応できると思う。また、距離に関わらず個別の事情で保護者が毎日送迎しているケースも実際にあると思う。校長の判断で保護者の車の送迎を可能とすることも検討できるではないか。

⑧やまやの前の道から北永井の交差点までの道を通らないで迂回する場合、森田園を通ってぐるっと廻ることになる。三芳町に越してきてから 14～15年ほど経つが、お茶屋さんの前の舗装が何年も状態が変わっていない。町にも学校にも何年も言い続けているが改善されない。一部の方が登下校に車を使っていることは知っているが、学校には、足のけがなど特別な事情がない限りは基本的に不可との説明を受けた。車での送迎が可となれば、保護者の方は皆そうしたいのではないか。

⑨子どもに GPS 装置をつけて、保護者が一筆誓約すれば、登校班を無くしてほしい。そのせいで子どもが学校に行きたがらないこともある。自分の出身の地域では、田舎で、通学班が無かった。通学班が無くてもよいと考えている保護者がいることも知ってほしい。
⇒安全に登校するためには、通学班を編成して、決められた通学路を通って登下校をするということは、統合前も統合後も変わりはない。

登下校の様子を見ていると、低学年の子で、途中で歩けなくなり止まってしまっている子もいる。雨の日は狭い道で傘渋滞が起こり、道路に水が溜まって歩きにくい。一番遠い子の通学路を歩いて体験してほしい。

⇒通学路の「安全総点検」は今年度、三芳小学校区も含めて全小中学校句で実施し、県に要望を提出している。予算には限りがあるので、必ず要望が通るものではないというところと、道路整備には時間を要するところもある。ただ、通学班の編成の問題や学校と教育委員会の協議で解消できる問題であれば、検討していきたい。ハードの対策はすぐには難しいが、ソフト的なところで協議の上解決できることがあれば、対策を取っていきたいと考えているところ。

ソフト面、ハード面とは何を指すのか。
⇒ハードと言うのは、道路や施設の整備などで、予算や時間がかかる可能性がある。ソフト面とは教育計画や児童の交流、通学班の編成など、そうしたところは工夫が出来ればと思う。

⑩自分の家は、下組の角にあり、令和 10 年度に 1 年生で入学予定。示された 2.0 ㎞以上の案では、乗車の対象外。そうなると、バス停を目の前にしながら、乗れないことになる。行きは歩きでも構わないが、下校の時は学童に行く児童もいるので、帰りだけでも下組の付近にバスで降ろしてもらうことはできないか。
⇒バスの乗車人数としては、2.0 ㎞以上、バス 2 台で 58 人程度の運行を見込んでいる。登校時から 2.0 ㎞未満の児童も全て乗車させるとなると、運行想定としては厳しいものになる。小さい学年のお子さんなどについては、統合後の三芳小学校区の児童全体の人数が減ってくる見込みで、そうなってくるとバスの乗車に余裕が出てくる可能性があるので、

乗車の対象として検討できるかもしれないと考えている。バスの停留所の位置を含め、提示した案については決定事項ではなく、アンケートの結果を踏まえてこれから学校準備委員会で協議し、教育委員会で内容を決定していくもの。いただいたご意見も参考にさせていただくが、登校時と下校時の乗車人数が異なるということについては、バスの事業者との契約で、それが実現可能かどうかは検証が必要かと思う。

⑪バスの停留所はすべて公共施設なのか。
⇒停留所については、上富 1 区の集会所などはある程度広いスペースで、中で旋回ができる、児童が安全に待機できる、大きな交差点から奥まった場所にあるなど、いくつかの条件で選定しているもので、場合によっては、民間に事業者の協力を得ることも想定している。

⑫下組付近の道路は道幅が狭く、樹木がうっそうとしている。
⇒バス停についてはまだ未定の状況だが、通学路の安全対策については、他部署との連携も含めてしっかりと対策をしていく。

学校指定の学用品について

①学用品について、学校で指定されているのは、帽子と体操着で、ジャージは学校指定ではないので、対象外ということか。
⇒ご認識の通り。

②以前に開かれた説明会では、どこかの保護者の方で、来年度 1 年間だけ上富小に通う児童の学用品について、統合が決まっているのであれば、統合した後の物を購入したいという意見もあった。購入には補助も出るということだが、税金の余分な無駄を省くためにも 1 年早く新しい学用品を購入することにしてはどうか。
⇒学用品については、新しい学校の体操着について、現在、保護者の方と児童を対象にアンケートを実施しており、その結果によって、補助の部分がどうなるかなどが現時点ではわからず、確定的にならない。学用品購入の時期的なことも鑑みて、令和 9 年度入学予定の上富小学校区の児童の保護者に関しては、今の上富小の体操着を購入していただくことが想定される。ただ、どちらの案になっても上富小の体操着を統合後も卒業まで着続けることが出来るように配慮していく。

③体操着について、三芳小では上着は、ワンポイントでも可としているので、1 年間だけであれば、ただの白い半そでシャツと紺色の短パンで可として、決まった体操着を着なくてもよいという案を出してはどうか。
⇒体操着については、学校準備委員会で協議し、お示しした事務局案の 2 案として提案しているところ。今いただいたご意見については、今後の準備委員会の中で検討していく。

学校の統廃合に対する地元の理解について

① 少し前まで、上富小学校の統合については反対の動きがあり、町の方でも確か一度否決になったが、結局、統合ということになった。このことについて、地元の理解というか、住民の理解、説明はされたのか。

⇒令和 7 年 12 月の議会で、学校の統合に関する議案を上程したが、否決となった。地元の理解が足りない、説明不足という指摘を受けて、令和 8 年の 1 月から 2 月にかけて全 9 回説明会を行った。多くの未就学児世帯、在校生保護者、地域の方に参加いただき、丁寧に再編について説明をしてきた。それを受けて、令和 8 年の 3 月議会に、統合に関する条例を再上程し、議会の承認をいただいた。地元の方の中には、賛成の方ばかりではないということを強く認識している。皆様のご意見を参考にしながら、ご理解を得られるように、今後についても再編の準備を丁寧に進めていく予定。

三芳小学校の校舎や安全面について

①自分の子どもは三芳小で、三芳小は正直新しい学校ではない。藤久保小ほどではなくても、もう少し町からお金を出して、統合に当たって、学校をきれいにしてもらえないか。

⇒三芳小については、確かに校舎の築年数が経過しており、使用に関して保護者の方のご心配な気持ちも有ろうかと思う。学校の修繕や改修については、教育総務課が所管であり、「学校再編計画」などに基づき、施設の改修や統合について検討を進めているところ。今後については未定だが、緊急性の高いものから、優先順位をつけて修繕を行っている。いただいた修繕要望については、これまでに保護者の方からいただいた意見も含めて、検討していく。

②都内の学校で音楽室が燃える火事のニュースがあった。三芳小でもし火事が起こった場合ちゃんと逃げられるのか不安。統合前に安全面についてもチェックしてもらえないか。

⇒安全面については普段から学校でも点検を行っており、緊急時の対応、避難訓練なども含めてしっかりと対応している。2 校の統合で、上富小の児童が校舎に不案内になるということもあると思うので、不安な気持ちにならないよう、統合前から交流を進めていて、対応していく。

③統合後の三芳小について、若干児童の人数が増えて、校庭で遊ぶ子どもの数も増えて校庭のあちらこちらで遊ぶようになると思う。校庭の整備について、見直していただけないか。安全面についても配慮してほしい。

⇒三芳小学校の人数については、統合後もそこまで増えるという見込みではないが、校庭の安全面、校庭周辺の対策は当然必要となる。施設を所管する教育総務課と調整しながら、安全対策に取り組んでいきたい。

その他

①スクールバスの話で、学校からの距離が遠いという話があったが、家から近い学校に行けるようにしてほしい。自分の家で言えば、藤久保小の方が近い、ふじみ野市の学校の方が近いということもある。安全面を優先して、近い学校に行けるようにはできないか。

⇒これまでも保護者の方から、特に令和９年度入学予定の上富小学校区の保護者の方からは、先に三芳小に行けるようにさせてほしい、指定の学区を飛び越えて自由に通学できるようにしてほしいといったご意見があった。自由学区となると、通学班がうまく編成できなくなって安全な登校に支障をきたす、また、特定の学校の児童生徒数が極端に多くなったり、少なくなったりする可能性があり、学校運営に多大な影響を及ぼす懸念があることから、教育委員会としてはこれまでどおり指定学区とさせていただきたい。

②ハード面の整備には時間とお金がかかるということだったが、道路のことなどは何年も言い続けて状況が変わらない。大体の目安で、今意見を言ったとして、どのくらいでそれが反映されるのか。

⇒何年ということを明確に言うことはできない。町には「公共施設マネジメント基本計画」があって、町の公共施設全体について計画的に整備していくもので、今年見直しの年となっている。また、昨年 9 月に「三芳町小中学校再編計画」を策定し、それぞれの学校の統廃合についての計画を教育委員会で進めており、学校の施設改修も併せて計画的に考えていくことになる。

③通学路になっているお家で、子どもが通る道で狭い道で痛い葉っぱが出ているなどは、言うことはできるか。

⇒民間の私有地となると、所有者のものになるので、あくまで協力を求めていく形になると思う。

学校再編説明会　アンケート
参加者：10 名（うち、アンケート提出 5 名）

【未就学児保護者】三芳小
あっさりした説明だったなと思う。まだ計画を始めたばかりで未定のことが多いのかもしれないけど、資料だけでわかるような話ばかりだったなとは思いました。
質問・意見でもたくさんあったが、三芳小学区で 2.0 ㎞以上の子はバス送迎もあった方が良いのではないかと思う。上富地区はあるのに、三芳小学区は同じ距離を歩くのにどんなに遠くても歩いて通わなければいけないというのは不公平ではないか？
三芳小・上富小以外は 2.0 ㎞以上の子がいないのに対策が無いのはおかしいのでは？

【在校生保護者】三芳小
とても聞きやすい声と丁寧なお話のされ方で心地良かったです。
格差が生まれそう。学校を守る事よりも子どもを守ることを注視してほしい。

【在校生保護者】三芳小
体操着の指定は柔軟に考えて、税金をわざわざ使うことなく型に捉われないでいただきたいです。説明会や公聴会の意味が無くなるので。決まったことありき、原案ありきで決めないでほしい。
スクールバスについては、三芳小学区として 2.0 ㎞以上の子はバスに乗せてあげてほしい。
今いる子どもを大切にしてほしい。数年後のものばかりでなく、今の三芳の子にお金をかけてほしい。

【未就学児保護者】上富小
皆さん、通学班のことで悩んでいるのがわかった。2.0 ㎞以上のバスの適用について、三芳小・上富小共に、準備委員会での検討をお願いします。

【未就学児保護者】上富小
この説明会実施の通知をもう少し早く教えてほしかった（手紙が来るのが遅い）